

## データに基づく客観的課題 “地震の軽減対策が必要”

図表6 箕輪町における地震被害想定(2015)

	マグニチュード	30年内発生確率	震度	全半壊(棟)	死者(人)	停電(軒)
糸静線南側	M7.6	13~30%	7	4,390	100	11,510
東海地震	M8程度	88%	5強	わずか	わずか	2,460
南海トラフ	M8~9	70%程度	6弱	1,190	10	10,010

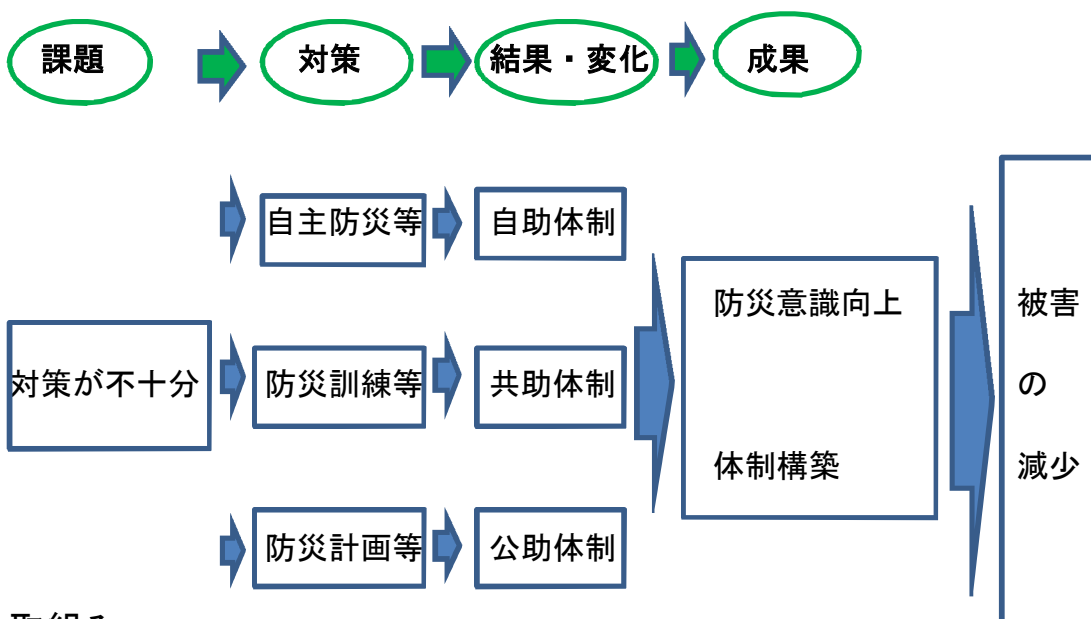
2015年 政府地震調査委員会、長野県第3次地震被害長結果から

図表7 長野県における減災効果の想定



10 長野県発表：糸魚川-静岡構造線断層帯の地震での減災想定(2015)

### 対策の全容



### 取組み

できることからの取組として、地震被害軽減プログラムの内容①②を推進する。

地震被害軽減プログラム（平成 28 年 3 月～新たに設定したプログラム）	
課題	地震被害の軽減対策が不十分
目標	地震からの減災意識と減災対策の向上
内容	①減災・防災意識を高め、訓練参加者や防災士を増やす ②家具転倒防止対策や感震ブレーカーの普及を促進する
対象	家庭、企業、保育園、小中学校
実施関係者	消防署、消防団、民生児童委員協議会、SCくらしの安全対策委員会など

上記プログラムの評価指標及びプログラムの効果

指標	指標内容【測定方法】							
活動指標	広報・啓発活動回数、チラシ等枚数	年	2013	2014	2015	2016	2017	
		回						
		枚						
認識・知識	緊急メール登録数	2016 年	緊急情報メール	3,535 人	登録率		13.6%	
態度・行動	震災総合訓練参加者数	年	2012	2013	2014	2015	2016	2017
		人数	3,746	3,933	3,932	3,329	3,904	4289
	防災士数	人数	7	12	15	26	35	40
	家具転倒防止対策実施率	n=399	-	-	-	-	32.0 %	
	感震ブレーカー一設置率	n=400	-	-	-	-	6.5 %	
状態・状況	県の被害予測数	2015 年伊那谷断層	倒壊死者 70 人、	焼失 110 棟				
		糸静線南側	倒壊死者 100 人	焼失 120 棟				

感震ブレーカーについて ⇒地震発生時に電気を遮断して通電火災を防ぎます



○効果

- ・阪神淡路大震災→火災通報 237 件で 60%が通電火災
- ・東日本大震災 →火災 111 件、原因特定 108 件のうち 54%が電気関係出火
- ・首都直下地震 →推定死者 2 万 3 千人、全壊焼失 61 万棟  
⇒感震ブレーカーで火災死者を 40%以上減らせる。

○箕輪町で予測される地震による火災被害

- ・糸静線南側 120 棟が焼失
- ・伊那谷断層 110 棟が焼失

写真の感震ブレーカーは3,500円で購入が可能で誰でも取り付けられます。

照会先
箕輪町セーフコミュニティ推進協議会
アドバイザー 向山 静雄
090-1451-1017